

第12回 赤十字救急法競技会 開催要項

- 1 目的 日本赤十字社は、赤十字の基本理念である人道（人間の苦痛を予防軽減し、生命の尊厳を確保する）を人々に広めることを目的として、救急法等の講習を事業として行っています。
本競技会は、参加者自身が日常生活における安全意識を高めるとともに、事故や災害時にお互いが助け合いながら活動するための知識と技術を向上させることを目的とします。
さらに、参加者相互の理解を深め、ボランティアの連携を強化する場とします。
- 2 日時 令和6年10月26日（土） 12:00 ～ 15:30 （受付 11:00～）
- 3 会場 グランシップ（静岡県静岡市駿河区東静岡 2-3-1）
- 4 主催 日本赤十字社静岡県支部
- 5 協力 静岡地方气象台、清水海上保安部、静岡市消防局
（予定） 静岡県地域赤十字奉仕団、静岡県青年赤十字奉仕団、静岡県無線赤十字奉仕団、静岡県赤十字安全奉仕団、静岡県点訳赤十字奉仕団、静岡県赤十字看護奉仕団、静岡県赤十字水上安全奉仕団、静岡県柔道整復師赤十字奉仕団、静岡県青少年赤十字賛助奉仕団、静岡県芸能赤十字奉仕団
- 6 後援 静岡県教育委員会、NHK静岡放送局、静岡新聞社・静岡放送、静岡第一テレビ、
（予定） 静岡朝日テレビ、中日新聞東海本社
- 7 内容 （1）競技種目（3人1チーム）
ア 三角巾リレー競技
三角巾を使い、きずの手当の速さと正確さを競います。
イ 救命応急手当競技
傷病者を救急隊に引き継ぐまでの観察と手当の正確さを競います。
ウ 心肺蘇生競技
心肺蘇生とAEDを用いた電気ショックまでの手技（赤十字救急法の一次救命処置）の正確さを競います。
- 8 表彰 競技種目すべてに参加したチームの中から優秀な成績を収めたチームを表彰します。
- 9 出場資格 どなたでも出場可能（赤十字講習の指導員を除く。）

- 10 出場料 無料
- 11 申込方法 出場には事前の申し込みが必要です。
申込書によってFAX、郵送またはEメールにて申し込んでください。
【締切：令和6年9月13日（金）必着】
※申込者多数の場合には、一団体当たりの出場チーム数を調整する場合があります。
※急病などやむを得ない場合や主催者の要請により出場チーム数を調整された場合を除いて、申し込み後（競技会当日を含む）のメンバー変更は認めません。
- 12 その他 ・公式練習会の開催について
救急法競技会の開催にあたり、その競技内容の説明と実技を確認（練習）します。
①日時 第1回 令和6年8月17日（土）13時30分から16時30分
第2回 令和6年9月7日（土）13時30分から16時30分
②会場 ア 静岡県赤十字血液センター沼津事業所
イ 日本赤十字社静岡県支部
ウ 静岡県赤十字血液センター浜松事業所
★両日とも上記3会場で開催
※詳細については日本赤十字社静岡県支部へお問い合わせください。
- 13 問合せ先 日本赤十字社静岡県支部 事業推進課 講習普及係
〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17
TEL 054-252-8131 FAX 054-254-5830
Eメール koshu@shizuoka.jrc.or.jp

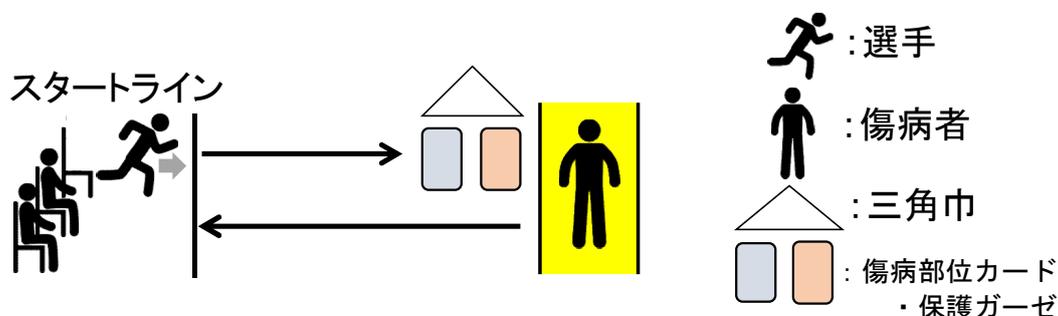
競技内容

ア 三角巾リレー競技

競技内容	三角巾を使い、きずの手当をする速さと正確さを競います。
------	-----------------------------

- ① 選手は、3人1組で参加。
- ② スタートの合図で、1人ずつ傷病者のところへ行き、指定された傷病部位を保護ガーゼと三角巾を使い手当する。
※1人が手当する傷病部位は、「額」「頭」「前腕」「膝」「腕の吊り」のうち、いずれか1か所。
- ③ 手当が完了したらスタートラインに戻り、次の選手とタッチして交代する。以降、最終選手(3人目)まで繰り返し、3人目の選手がスタートラインまで戻って終了となる。

※ 傷病部位に適した手当か、手順や結び目の位置が正しいか、迅速に実施したか、傷病者への配慮がされているかなどが評価のポイントとなる。

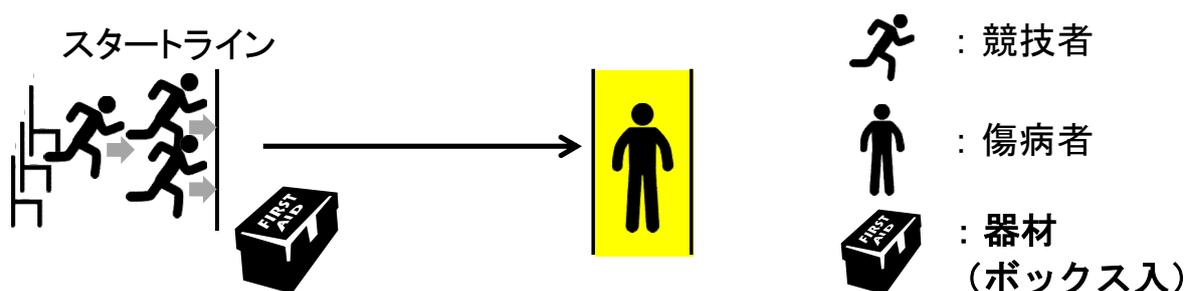


イ 救命応急手当競技

競技内容	傷病者を救急隊に引き継ぐまでの観察と手当の正確さを競います。
------	--------------------------------

- ① 選手は、3人1組で参加。
- ② スタートの合図で、3人が協力して傷病者を観察し、必要な手当を行う。
手当に使用する器材は、スタートライン近くに準備されたものを使用する。
- ③ 救急隊要請に基づき救急隊が到着したら、観察で得た情報や、行った手当について救急隊の問いかけに回答する。

※ 二次事故の防止、傷病者の観察、傷病の特定と適切な手当の実施、適切な役割分担、資材を有効活用などが評価のポイントとなる。



ウ 心肺蘇生競技

競技内容	心肺蘇生とAEDを用いた電気ショックまでの手技(赤十字救急法の一次救命処置)の正確さを競います。
------	--

- ① 選手は、3人1組で参加。
1人は救助者(第一発見者)、他の2人は協力者として、119番通報、AED手配、心肺蘇生の交代などをおこなう。救助者、協力者の配役は事前に決めておく。
- ② スタートの合図で、救助者(第一発見者)が傷病者(訓練用人形)を観察し、必要な手当を行う。
※1 傷病者の設定は、意識なし、呼吸なし、頸椎損傷なしの成人。
※2 人工呼吸は、感染防止のため呼気吹込みは行わず形だけとる。
- ③ 救助者が協力を求めたら、協力者2人が救助者に近寄って協力する。
- ④ 協力者がAEDをもっていくタイミング等の指示は、審判員が行う。
- ⑤ 救急要請に基づき到着する救急隊へ引き継ぎを行い競技終了。

※ 二次事故の防止、反応の確認、通報とAEDの手配、呼吸の確認、心肺蘇生、AED操作、協力者との連携、救急隊への引き継ぎなどが評価のポイントとなる。
(赤十字救急法の一次救命処置標準実技をベースとした評価)

